

▶ 招待講演者

氏名	所属・職名
Partha DASGUPTA	英国 ケンブリッジ大学フランク・ラムゼイ記念経済学教授
速水 佑次郎	国際開発高等教育機構顧問

Sakiko FUKUDA-PARR	アメリカ ニュースクール大学大学院教授
堀井 伸浩	九州大学経済学研究院准教授
David HULME	英国 マンチェスター大学慢性貧困研究所所長
井谷 徹	国際労働機関 (ILO) 労働保護福祉局長
桑島 京子	国際協力機構 (JICA) 社会開発部第一グループグループ長
目黒 公郎	東京大学生産技術研究所教授
峯 陽一	大阪大学グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL) 准教授
Antonio NAVARRA	イタリア ユーロ地中海気候変化センター所長
岡部 信彦	国立感染症研究所感染症情報センター長
大塚 啓二郎	国際開発高等教育機構

Sarfraz Khan QURESHI	GRIPS/FASID国際開発プログラムプログラムディレクター
Kanit SANGSUBHAN	パキスタン Innovative Development Strategies社CEO
重富 真一	タイ財務省財政政策研究所所長
島田 弦	JETROアジア経済研究所地域研究センター主任研究員
山形 辰史	名古屋大学大学院国際開発研究科准教授
	JETROアジア経済研究所開発研究センター
	開発戦略研究グループ長
袁 鋼明	中国社会科学院経済研究所教授

▶ 組織委員会

氏名	所属・職名
委員長 河野 長	東京工業大学グローバルエッジ研究院特任教授
副委員長 鈴木 興太郎	一橋大学経済研究所特任教授
幹事 唐木 英明 大垣 真一郎	東京大学名誉教授 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授
セッション1共同議長 藤田 昌久 小泉 潤二	甲南大学教授 大阪大学総長補佐・大学院人間科学研究科教授 大阪大学グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL) センター長

セッション2共同議長 春日 文子 山形 俊男	国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部室長 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻教授
------------------------------	--

セッション3共同議長 黒崎 卓 末廣 昭	一橋大学経済研究所教授 東京大学社会科学研究所教授
----------------------------	------------------------------

委員 深川 由起子 濱田 政則 花木 啓祐 岸 玲子 澤本 光男 津田 敏隆	早稲田大学政治経済学術院教授 早稲田大学理工学術院教授 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授 北海道大学大学院医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野教授 京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻教授 京都市立大学存続研究所教授
--	---



International Conference on Science and Technology for Sustainability 2007
International Cooperation for Development

参加申し込み方法

- 参加登録** ▶ <http://www.sustaina2007.com>より
オンラインにてご登録ください。
- 参加資格** ▶ どなたでもご登録いただけます。
- 参加費** ▶ 無料（事前登録をお願いします。）
- 定員** ▶ 300名（先着順）
- 締切日** ▶ 2007年9月3日 (月)

お問い合わせ

持続可能な社会のための
科学と技術に関する国際会議 2007 事務局
〒104-0045
東京都中央区築地1-12-6 築地えとビル5階
Tel: 03-3524-3132 Fax: 03-3524-3135

会場への交通のご案内

会場 ▶ 日本学術会議講堂（東京）
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅下車
出口5番（青山霊園方面）徒歩1分

Registration

- Online Registration** ▶ <http://www.sustaina2007.com>
- Admission** ▶ Free
- Registration Fee** ▶ Free (Registration required)
- Capacity** ▶ 300 (first come, first served)
- Deadline** ▶ Monday, September 3, 2007

Contact

International Conference on Science and Technology for
Sustainability 2007 Secretariat
Tsukiji Eto Bldg., 5F, 1-12-6 Tsukiji, Chuo-ku,
Tokyo 104-0045 Japan
Tel: 03-3524-3132 Fax: 03-3524-3135

Access

Venue ▶ The Auditorium, Science Council of Japan, Tokyo
7-22-34 Roppongi, Minato-ku, Tokyo 106-8555 Japan
One minute walk from 'Nogizaka' Station
Tokyo Metro Chiyoda Line

<http://www.sustaina2007.com>



持続可能な社会のための
科学と技術に関する国際会議 2007

国際開発協力

International Conference on Science and Technology for Sustainability 2007
International Cooperation for Development



- Date** ▶ September 7 and 8, 2007
- Venue** ▶ The Auditorium, Science Council of Japan, Tokyo
- Organizer** ▶ Science Council of Japan
- Co-organizers** ▶ Hitotsubashi University, 21st Century COE Program
- Collaborators** ▶ The Ministry of Foreign Affairs of Japan
United Nations University (UNU)
United Nations University-Institute of Advanced Studies (UNU-IAS)
United Nations Development Programme (UNDP)
Japan International Cooperation Agency (JICA)
The Asahi Shimbun Company, Nihon Keizai Shimbun, Inc.
The Mainichi Newspapers, The Yomiuri Shimbun

Languages ▶ English and Japanese (Simultaneous Interpretation)

- Participation fee is free (first come, first served)

会期 ▶ 2007 年 9 月 7 日 (金) – 8 日 (土)

会場 ▶ 日本学術会議講堂（東京）

- 主催** ▶ 日本学術会議 (SCJ)
- 共催** ▶ 一橋大学 21 世紀 COE プログラム
現代経済システムの規範的評価と社会的選択
- 後援** ▶ 外務省・国際連合大学 (UNU)・国際連合大学高等研究所 (UNU-IAS)
国際連合開発計画 (UNDP)・(独)国際協力機構 (JICA)
朝日新聞社・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社

言語 ▶ 英語及び日本語（同時通訳あり）

- 参加費無料（先着順）

<http://www.sustaina2007.com>

ご挨拶



日本学術会議会長 金澤 一郎

今日の世界は、人類の累積的な活動に起因する温暖化ガスの蓄積が重要な原因と考えられる地球規模の気候変動、大都市を中心に激甚な被害をもたらす地震・台風・津波などの巨大自然災害、近い将来に危惧されている水や化石燃料の不足、従来は円滑に機能していた社会・経済メカニズムの制度疲労と機能不全など、さまざまな重大問題に直面しております。こうした状況下で、いかにして人類が地域間でも世代間でも衡平で、持続可能なやり方で発展を継続する道筋を発見できるかは、グローバル化した 21 世紀の世界が共同で取り組むべき最も重要な課題であります。これらの問題の解決策を考えるにあたっては、人文・社会科学と自然科学が相補的に果たす役割がきわめて重要であることは、改めて言うまでもありません。

日本学術会議においては、持続可能な発展のための制度の設計と実装ならびに政策的支援の構想に対して、学術がどのように貢献できるかについて、従来からさまざまな機会を捉えて検討を進めてまいりました。これらの活動の成果の一部は、「日本の計画」（2002 年 9 月）や「日本の科学技術政策の要諦」（2005 年 9 月）などの文書に取りまとめられています。

「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」は、こうした努力の一環として、日本学術会議が継続的に企画・推進してきた会議であります。2003 年以来、毎年 1 回ずつ、これまで 4 回開催されてきた国際会議においては、エネルギー、アジアの巨大都市、アジアのダイナミズム、グローバル・イノベーション・エコシステムをそれぞれ焦点に据えて、持続可能な社会の制度と政策を模索するために、国内外から多くの専門家を招聘して検討を行なってまいりました。今年度は「国際開発協力」を中心テーマとして、基調講演のほかに、3 つのセッションを設けて具体的な問題を掘り下げつつ、学術の面からどのような寄与ができるかについて、参加者の皆様の深い学識から地球規模の困難に立ち向かう戦略とツールが発見されることを願っております。



9月7日(金) Friday, September 7

9 : 30	開会挨拶 金澤 一郎 日本学術会議会長 Konrad OSTERWALDER 国際連合大学学長
10 : 00	基調講演 I Partha DASGUPTA 英国 ケンブリッジ大学フランク・ラムゼイ記念経済学教授
11 : 00	休憩
11 : 30	基調講演 II 速水 佑次郎 国際開発高等教育機構顧問
12 : 30	ランチ
14 : 00	セッション 1▶ 開発戦略と人間の安全保障 【共同議長】 藤田 昌久 甲南大学教授 小泉 潤二 大阪大学総長補佐・大学院人間科学研究科教授 大阪大学グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL) センター長 Sakiko FUKUDA-PARR アメリカ ニュースクール大学大学院教授 David HULME 英国 マンチェスター大学慢性貧困研究所所長 峯 陽一 大阪大学グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL) 准教授 大塚 啓二郎 国際開発高等教育機構 GRIPS/FASID 国際開発プログラム プログラムディレクター 山形 辰史 JETRO アジア経済研究所開発研究センター開発戦略研究グループ長
17 : 30	

9 : 30	Opening Remarks Ichiro KANAZAWA President, Science Council of Japan, Japan Konrad OSTERWALDER Rector, United Nations University (UNU)
10 : 00	Keynote Speech I Partha DASGUPTA Frank Ramsey Professor of Economics, University of Cambridge, UK
11 : 00	Break
11 : 30	Keynote Speech II Yujiro HAYAMI Senior Advisor, Foundation for Advanced Studies on International Development, Japan
12 : 30	Lunch
14 : 00	Session 1▶ Development Strategy and Human Security 【Co-Chairs】 Masahisa FUJITA Professor, Konan University Junji KOIZUMI Advisor to the President and Professor of Anthropology, Director of Global Collaboration Center (GLOCOL), Osaka University Sakiko FUKUDA-PARR Professor, Graduate Program in International Affairs, The New School, USA David HULME Director, Chronic Poverty Research Centre, University of Manchester, UK Yoichi MINE Associate Professor, Global Collaboration Center (GLOCOL), Osaka University, Japan Keijiro OTSUKA Program Director, GRIPS/FASID Joint Graduate Program, Foundation for Advanced Studies on International Development, Japan Tatsufumi YAMAGATA Director, Development Strategies Studies Department, Development Studies Center, Institute of Developing Economies (IDE-JETRO), Japan
17 : 30	

9月8日(土) Saturday, September 8

9 : 00	セッション 2▶ 国際開発のための科学技術 【共同議長】 春日 文子 国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部室長 山形 俊男 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻教授 堀井 伸浩 九州大学経済学研究院准教授 井谷 徹 国際労働機関 (ILO) 労働保護福祉局長 目黒 公郎 東京大学生産技術研究所教授 Antonio NAVARRA イタリア ユーロ地中海気候変化センター所長 岡部 信彦 国立感染症研究所感染症情報センター長
12 : 30	ランチ
14 : 00	セッション 3▶ 能力構築とガバナンス 【共同議長】 黒崎 卓 一橋大学経済研究所教授 末廣 昭 東京大学社会科学研究所教授 桑島 京子 国際協力機構 (JICA) 社会開発部第一グループグループ長 Sarfraz Khan QURESHI パキスタン Innovative Development Strategies 社 CEO Kanit SANGSUBHAN タイ財務省財政政策研究所所長 重富 真一 JETRO アジア経済研究所地域研究センター主任研究員 島田 弦 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授 袁 鋼明 中国社会科学院経済研究所教授
17 : 30	総括・討論
18 : 00	閉会挨拶

9 : 00	Session 2▶ Science and Technology for International Development 【Co-Chairs】 Fumiko KASUGA Section Chief, Division of Biomedical Food Research, National Institute of Health Sciences Toshio YAMAGATA Professor, Department of Earth and Planetary Science, Graduate School of Science, The University of Tokyo Nobuhiro HORII Associate Professor, Faculty of Economics, Kyushu University, Japan Toru ITANI Director, Labour Protection Department, International Labour Office (ILO) Kimiro MEGURO Professor, Institute of Industrial Science, The University of Tokyo, Japan Antonio NAVARRA Director, Euro-Mediterranean Centre for Climate Changes, Italy Nobuhiko OKABE Director, Infectious Disease Surveillance Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan
12 : 30	Lunch
14 : 00	Session 3▶ Capacity Building and Governance 【Co-Chairs】 Takashi KUROSAKI Professor, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University Akira SUEHIRO Prof. Dr., Institute of Social Science, The University of Tokyo Kyoko KUWAJIMA Group Director, Group I, Social Development Department, Japan International Cooperation Agency (JICA), Japan Sarfraz Khan QURESHI Chief Executive Officer, Innovative Development Strategies, Pakistan Kanit SANGSUBHAN Director, Fiscal Policy Research Institute, Ministry of Finance, Thailand Shinichi SHIGETOMI Senior Research Fellow, Area Studies Center, Institute of Developing Economies (IDE-JETRO), Japan Yuzuru SHIMADA Associate Professor, Graduate School of International Development, Nagoya University, Japan Gangming YUAN Professor, Institute of Economics, Chinese Academy of Social Sciences, P. R. China
17 : 30	Concluding Session
18 : 00	Closing Address